番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	畑野町	自治会アンケートの報告				
2	畑野町	民生委員の負担増への対応について ①民生委員の負担増がどのような状況にあるのか、数値で教えてほしい。	西部地区4町の状況を平成26年度と30年度を比較しますと、民生委員児童委員の活動日数と相談支援件数は減少しました。年間活動日数は、H26:3,552日からH30:3,257日、9%減、年間相談支援件数も同様に612件から461件、32%減少しています。一方で、年間訪問回数は大幅に増加しており、H26:3,242回からH30:4,107回で26%増えています。原因として、高齢し1人暮らしの高齢者が増え、また、児童虐待や災害の対応で多くの訪問回数が増えたと思われます。市全体でも同様な結果となっています。	健康福祉部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
3	畑野町	民生委員の負担増への対応について ②民生委員の負担増への対処策、改善策は	今年度、委員への活動補助金(主に交通費や通信費の実費弁償)を増額しております。負担軽減については、これまで通り行政からお願いする業務依頼など少なくし、配布物などは極力行わないように徹底していますが、災害も含めて各地域での課題に対応して頂いていることは感謝しています。民生委員1人だけで地域への課題等を抱え込まないように、行政も関係機関と連携を取りながら支援していくように対応していきます。定数の増員も検討しましたが、これ以上増やすことは難しいと思われるので、今回については同じ人数でいきますが、これからも検討協議していきます。	健康福祉部長	③検討	民生委員の負担軽減については、こん談会で回答いたしましたとおり、業務依頼及び配布物等を安易に行うことのないよう徹底するとともに、困難事例については、関係各課及び関係機関が連携しながら支援するよう対応してまいります。 また、令和元年12月の一斉改選で新たに民生委員となられた方については、今後、委員として必要な知識を習得するための研修等を実施して行く考えです。【新任者研修(第1回)R元.12・(第2回)R2. 6・(第3回)R2. 8実施予定】
4	畑野町	民生委員の負担増への対応について ③処遇改善が必要と考えるが、地域性の配慮についての考えは	地域によって環境が違いますので、それぞれの事情を反映させることは難しいと考えていますのでご理解ください。	健康福祉部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	畑野町	民生委員の負担増への対応について ④自治会が民生委員の推薦を行うことの根拠は 各地区民児協へのサポーターを設置できないか、検討いただきたい。	民生委員法の規定に基づき、市町村民生委員推せん会が推薦した者を、知事の推薦によって厚生労働大臣から本人に委嘱されます。民生委員法には、民生委員の推薦の基準及び推せん会を組織することが規定されています。亀岡市では、規則で民生委員推せん会が設置されており、推薦などの方針などを12名で決定しています。なお、今年度の協議の結果、やはり地域の実情を把握しておられる自治会に依頼をすることで決定し、お願いをしているものです。 自治会長から、サポーターを置くべきではないかとの提案を頂き、すぐには回答できませんが、慎重に検討する必要があると思っております。私たち職員について、すべて民生委員に任せているとは思っていません。災害など含めて、必要であれば市職員も現場に入り対応しますので、よろしくお願いたします。	健康福祉部長	③検討	民生委員児童委員の推薦につきましては、こん談会で回答いたしましたとおり、地域の実情を把握しておられる自治会に依頼させていただいているところです。今後も民生委員の推薦方法については自治会の皆様と十分協議を重ねてまいりたいと考えております。 サポーターの設置については、市及び地区の民生委員児童委員協議会の要望や意見等も踏まえ、慎重に検討してまいりたいと考えております。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	畑野町	【質問事項等】 民生委員の負担増への対応について 民生委員が期限までに6人集まらなかったとき、6人集まるまで市で対応しますと言われたが、本当にできるのか。	期限までもう少し時間がありますが、候補者の選考についても民児協や自治会にお願いする中で、市職員も入って説明に伺ったり、出来るだけ欠員を出さない取組みを努力しなければいけないと思っています。仮に、欠員が出た場合は、毎回市職員が伺うことはできないので、残りの方で協力して頂きながらになります。災害や課題が生じるケースが出た場合は、市職員も協力することは約束しますが、1人の民生委員と同じ活動は不可能です。	健康福祉部長	③検討	昨年12月の一斉改選に伴う民生委員野推薦については、各町自治会長の皆様の御尽力により、定数199名中198名の委嘱を行うことが出来ました。 畑野町につきましても、無事6名全員の委嘱を行うことができましたこと厚くお礼申し上げます。 また、欠員1名につきましても、今年度中の委嘱に向けて手続きを進めているところです。
7	畑野町	【質問事項等】 民生委員の負担増への対応について 亀岡市は、自治会組織があるが、他の市町村で自治会組織がない所は、どのようにしているのか教えてほしい。	他市は、自治会の加入率が低く50%に届かない自治体もあるので、自治会が決めているのは難しいのかもしれませんが。亀岡市のように自治会とのまちづくりができていない事情があるのかもしれない。そういった所は、民生委員推薦会の組織や職員が個々に候補者をお願いしています。 亀岡市の場合、1名欠員になれば、他の民生委員様に分担をお願いしています。自治会がいろいろな意味で行政と自治会という繋がりの中で敷居を無くしをして、地域の中核的な役割を担ってもらえています。それがあって、いろいろな意味で安心安全な状況ができています。自主防災会も組織いただき、消防団にもお願いしています。消防団の迅速率も高いと評価されています。新しい住宅地では、自治会加入率が下がってきている問題があり、今後民生委員や消防団等地域の役をお願いすることが難しくなっていることもあります。セーフコミュニティの安心安全を担保していく中で、自治会が本当に地域の安心安全のよりどころになって頂きながら、やれているのはありがたいです。それを維持することが、市としても必要だと思っていますし、住民にとっても必要なことだと感じています。その分自治会の皆様には、ご迷惑をおかけし仕事量が増えているのは事実です。それをどのようにカバーしていくかは、市として考えていかなければいけないと思っています。行政とをつなぐコーディネーターなどを考えていかなければいけないかもしれません。市と自治会の間には、コミュニティ推進員がいる訳ですが、それがどこまで機能しているかは、自治会によって違うので、事例を見て頂きながら対応をお願いしたいと思います。災害時には各町要員が自治会に入りサポートしていくことになっていますし、その他のメンバーも災害の時は入るように組織化しています。昨年のように、災害が長期化してきますと、職員の中でも23町すべてに3～4人ずつ配置していますが、24時間対応になると交代制になるとそれだけで人数が必要になります。すべての職員が亀岡市民ではなく、事実、約半分が市外から勤務しています。役割分担の中で、コミュニティ推進員や災害時に各町要員として活躍していますが、職員を減らしてきている状況で、いろいろ課題がある中、昨年の災害は、なんとか対応することができましたが、今後長期化した場合、対策として市としても考えていかなければいけないと考えます。	市長 (健康福祉部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
8	畑野町	民生委員の負担増への対応について 市で自治会加入を条例化できないのか。 ○町民から市へ直接要望等があった場合は、自治会を通すよう指導してほしい。	義務づけるのは難しいです。京都市で義務づけるようにする活動をしたが、「入りましょう」といった推奨する条例となったと聞いています。入らなければならないとは書けないと思います。 例えば、PTAでも入らない人が増えてきており、「入りましょう」という条例はつくれますが、会費が伴うので難しい問題です。条例をつくらなくても、入ってもらえるようにどう仕組みをつくっていくかが大事だと思います。市としても個人から要望をされても全て対応できないので、地域の皆さんからあげてもらった事を前提として、自治会を中心に要望をあげてもらった仕組みを作りながら、地域の連携、地域の課題を大切にして行政も答えたいと思います。	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
9	畑野町	空き家・空き地問題への対応について ①昨年「亀岡市空き家等対策の推進に関する条例」が施行され、1年間の取組実績について	<p>平成27年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」のもと、当市においても平成30年度に「亀岡市空家等対策の推進に関する条例」を制定及び施行し、併せて「亀岡市空家等対策計画」を策定し、現在、それらの法令及び計画に沿って空き家等への対応を進めているところです。その基本方針は、1つ目が所有者等が自らの財産である空き家を、自らの責任により適切に管理を行うという当然のことを意識づける「所有者等の意識の涵養」、2つ目が、空き家の問題を地域の問題ととらえ、地域住民や民間事業者と連携し、空き家等の適切な管理や空き家バンク等の施策を推進する「地域住民や民間事業者と連携した対策の取組」となっており、この基本方針の下、法律や条例に沿って、空家等の調査、適正な管理の促進啓発及び特定空家等に対する措置等の段階を踏んだ措置を進めています。</p> <p>住宅・土地統計調査によると、市内には2,310戸の一戸建ての空き家が存在するとされ、その内400軒程度が管理の行き届いていない問題のある空き家であると推計しています。現在法令や条例に沿って、事情や条件が様々に異なる空き家全てに対し所有者を調査し、各個に自主的な対応を促すなど状況に応じた対応を行っているところです。昨年一年間の取り組み実績については、市内全域で52軒の空き家に対する相談が寄せられ、内7軒が畑野町です。また、市内全域52軒の内訳は、建物に問題有26軒、無26軒であり、問題有の26軒の内、11軒が対応終了、15軒が対応継続中です。同様に、畑野町7軒の内訳は、建物に問題有4軒、無3軒であり、問題有4軒の内、4軒全てが対応終了(内1軒の空き家が所有者の手により解体)となりました。</p> <p>今後の取り組みについては、空き家自体を放置することが大きなリスクや経費的負担を伴うものとなることを説明しつつ、引き続き各々の所有者に更なる対応を书面通知も含めて働きかけていきたいと考えているところです。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
10	畑野町	空き家・空き地問題への対応について ②所有者不明物件の整備を行う際に発生する廃棄処分費用や作業員の傷害保険料等を当町のボランティア団体「緑会・畑野」が負担している。緊急安全措置として行政が行うべきものをボランティア団体が行う場合の費用負担について 【要望】 空き家の撤去で発生した廃材の費用負担や、市の施設に持っていった廃材の費用の負担が大きいので検討してほしい。	<p>対空家ボランティア活動団体等の登録制度は、地元等で自主的に「空き家の草木を除草枝切除し整理したい」、「不法投棄物を始末したい」、「動物が出入りしている穴を塞ぎたい」等の取り組みを行う際に、「勝手に入ると訴えられるかも。」という不安要因が実施の妨げとならないように、その部分を行政的に可能な範囲で整理し、根拠を付加して実施を後押しし、それにより地元での活動を後方支援することを目的に発案した制度です。そのため、この制度における取組は地元等からの内容を事前にお聞きした上で、法令的に可能な場合に限り行うものとなり、市が地元等に実施を命じる性質のものではありません。法令的な根拠の整理という点を除き、地元による地域清掃や隣家等ご近所による取り組み等の実施となるため、当該費用を市が負担するしくみとはしていないのが現状です。今回行われた緊急安全措置につきましても、この登録制度の考え方や仕組みに基づき、「緑会・畑野」から実施したいと提案して頂き、実現したものであり、市民と市の協働によって得ることができた貴重な成果であると考えている所です。なお、この制度につきましても、運用試験中ではありません。今回の事業も含めて経過観察し、幅広い方向性を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>亀岡市が条例で定めております、緊急安全措置につきましては、行政の施設(道路や公園)に空き家が著しく被害を与える場合に、市が、当事者として空き家に直接関与し出来る制度です。この制度は、特定空き家に認定されていない空き家等に対しても講じることが出来る唯一の措置行為です。なんらかの要因で空き家に措置を行いたい場合、ある程度弾力的に運用する事で、対応の幅が広がる利点があります。その対応につきましては、市の財政負担が生じるため、誰がみても措置を講じなければいけない著しい程度の不全という厳しい客観性及び公平性が求められることから、実施のハードルを高くする必要がある所です。一方で、同じ例でも財政支出を要しない規模でも可能な限り認定できるように措置を講じている所です。ボランティア活動団体が、自発的に対応の要望があったものにつきましては、先程の基準で対応することとし、可能な限り緊急安全措置について、法的根拠のもと後押ししていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	畑野町	空き家・空き地問題への対応について ③ふるさと納税で空き家・空き地管理を受けた場合の扱いについて(ボランティア団体受注との関係)	<p>亀岡市での返礼品は、お米や地元の野菜や宿泊券など全500品目程ありますが、その中の1つとしまして、「空き家・空き地の巡回サービス」、「宅地の除草作業」があります。サービス提供事業者は、シルバー人材センターともう1つは民間の会社になります。申し込みが入れば寄附金の3割相当額が当該事業者に入金されサービスを提供して頂く仕組みとなります。</p> <p>この返礼品の目指している所は、亀岡市内に家や親の家があるが、自分は市外に住んでおり、管理ができない場合に利用いただけるように期待しているものです。市内の家を市民が寄附しても返礼品をもらえないので、市外に住んでいる方が対象になります。</p> <p>ボランティア団体が作業しているとのことです。自治会が返礼品提供会社になられて、インターネットの返礼品にサービス内容を掲載願えば、そこに寄附が入った場合に3割相当額の費用をボランティア団体に支払う方法もありますので、一度ご検討ください。</p>	市長公室長	①実施	ふるさと納税を活用した空き家・空き地管理のサービスについては、引き続きポータルサイトに掲載し、申込みを募集しているところです。
12	畑野町	空き家・空き地問題への対応について (その他)空き家で誰が見ても危ないと思われたので緑会で対応したが、撤去費用に補助はないのか。	<p>状況を現地確認していく中で、道路や公園など公共施設側に危険を及ぼす恐れがある場合については、特定空家等に認定するまでに市が判断して緊急安全措置を講じることができます。</p> <p>この措置は、トタンや瓦などが落ちてくることに対して、緊急の事態に際し個人の了解を得ずに軽微な対応を行うことを想定しています。今回は、結果としてすべて撤去に至った事例であり、大掛かりな規模の措置については、この措置で行うことを市も想定していなかったため、今後検討していきたいと思っております。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	運用方法を整理し、今後、大掛かりな規模に至る可能性が考慮される案件については、当該措置の実行を他団体に委任することを避けることとします。
13	畑野町	【質問事項等】 空き家・空き地問題への対応について (その他)空き地の草刈をする時に、持ち主から返事がない場合、亀岡市から個人情報を自治会に開示していただけないのか。	<p>特定空き家ではない所については、環境政策課が対応しています。空き家の草刈に関する案件があれば、市から所有者に連絡しますが、すべて返事が返ってくるがなく、市も対応できるのはここまでになります。市から草を刈ってくださいという指導はできませんが、それ以上に調べていくのは個人情報になり市も難しい状況です。情報を聞いて、相手が何処に住んでいるということが分かれば、市からも対応していただけます。</p>	環境市民部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
14	畑野町	【質問事項等】 空き家・空き地問題への対応について (その他)空き地の草刈をする時に、持ち主から返事がない場合、亀岡市から個人情報を自治会に開示していただけないのか。	<p>税金の納付状況については、原則、税情報は申し上げられませんが、宅地の形状をしていたら、課税はしていると予測されますが、山林の形状ですと税がかかっていることもあると思います。もし、税を納めて頂いていなければ、差し押さえとなります。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
15	畑野町	【質問事項等】 空き家・空き地問題への対応について (その他)空き地の草刈をする時に、持ち主から返事がない場合、亀岡市から個人情報を自治会に開示していただけないのか。	<p>昨年、固定資産税の決定通知の中に「空き家を亀岡市でお持ちで、管理がお困りの方はこちらに連絡してください」という、空き家バンクという制度があり、今年からは、ふるさと納税で空き家もバンクにつくろうと思っています。そういったアナウンスは行っています。</p>	市長公室長	①実施	ふるさと創生課において空き家や空き地についてのご相談を受けております。ご相談時に所有者の方にも管理等について御協力をいただけるように呼びかけを行っています。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
16	畑野町	【質問事項等】 空き家・空き地問題への対応について (その他) 空き地の持ち主が分かり、寄附したいと言われた時、公共で管理してもらえないのか。	その土地をもらいどのように活用するのかが大切だと思います。行政も寄附を受けることはありません。先日、山林1.5ヘクタールを寄附したい案件があり、どのように利用できるか今考えている状況です。全ての寄附をうけることは出来ませんし、その後どう利用するかが大切です。市も利用もないのに寄附を受けるわけにはいかない。その後に草を刈ったり管理する必要があるため、いろいろ判断しながら今後市民のためになる土地であれば、寄附を受けることも可能だと思います。	市長 (会計管理室)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
17	畑野町	消防分署(西部出張所)の設置について ①実現に向けた現在の状況と見通しについて	現在、各地における消防署所の配置状況は、亀岡市2ヶ所、南丹市4ヶ所、京丹波町に1ヶ所の計7署所が配置されています。国の消防庁の基準によると、人口規模によって決定されていますが、人口規模だけだと基準は満たしていると判断されます。しかし、京都中部広域消防組合の管轄する区域は、京都府内の1/4となり、大変広大な面積となります。人口だけでなく、緊急車両の到着時間がとても重要となってきます。市域全体のバランスを考えた場合や救急出動の増加、災害の多様化など、消防拠点施設(出張所)設置の必要性については、認識しております。現在、京都中部広域消防組合全体の消防力強化についての協議を進めており、消防組合管理者会の中でも、亀岡市長から南丹市長、京丹波町長に対しまして、設置について協力を求めているところです。設置につきましては、今しばらく時間がかかることとなります。その間の応急対応や初期活動につきましては、町民の皆様にも多くありますので、今年度予定しております、亀岡市防災訓練への参加や、各町で行われるAEDの講習会や消火栓取扱訓練など実施していただき、積極的にご参加いただく事により、災害発生時における、被害の軽減に努めて頂きたいと思っております。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
18	畑野町	消防分署(西部出張所)の設置について ②畑野町は、辺地としての起債や助成があると思うが、消防分署が実現した以降の扱いについて	国の辺地法に基づく、辺地に該当している地域につきましては、公共施設を整備する際、財源的に非常に有利な起債を充てることが出来ます。その対象となるかどうかを判定する辺地度数については、その時点の地域の人口や医療機関・郵便局等までの距離、公共交通機関の運行数などから算定することとなっておりますが、消防庁舎は条件にないため、消防分署の設置が影響を与えることはありません。ちなみに、畑野町においては、以前は辺地対策事業債の対象となった地域がありましたが、仮に現時点での辺地度数を算定いたしますと、バスの本数増や水道施設の整備により、全ての地域が辺地に該当していません。	企画管理部長	⑥ その他	こん談会での回答のとおりです。
19	畑野町	西部地区が連携して諸課題を考える組織づくりについて	各西部地域の小学校では、学級が複数となっておりますので、西部では小学校の問題、交通の問題、消防を含めた救急対応の問題、スポーツイベントを含めて地域の触れ合い事業を行っていくことがあれば、地域にとってよいことですので、これから人口が、10年で約2割減り今現在88,000人が、20年後には66,000人になると言われています。やはり、畑野も同じように減る可能性がある中、どのように止めるかを含めて広い範囲で物事を考えて課題を解決していくことが必要だと思います。畑野だけでは人手不足ならば、4町で拠点をづくり1日3台の車が地域のために送り迎えをする取り組みや、朝晩については、公共交通機関を使い昼間は地域活動で対応する方法もある。そうすれば、行政もその活動に対して補助を出しやすい。昼間のバスに年間数千万円の費用を西部地域のバスに使っていますから、その分を地域に出すことは可能だと思います。そのためには、行政から活動をするのか、地域から発信するのかがこれから考える必要がありますが、学校のことについては、今後行政から言わなければならない時代になっていると思っています。西部4町で一度考えようと言っているのですが、尊重したいと思いますが、一度西部4町との意見交換会があってもいいかもしれません。各町で今は行っていますが、エリアによって課題があると思いますので、意思疎通も含めて一緒に行うのもいいことかもしれませんので、一度考えさせてもらいます。	市長 (市長公室) (総務部) (まちづくり推進部) (教育部)	①実施 ⑥その他 ③検討	こん談会での回答のとおりです。なお、広域的な地域課題について共有する西部4町の意見交換を行う場として、8月28日に西部地域ブロックこん談会を開催しました。学校規模適正化についても、今後協議していくこととしています。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
20	畑野町	プラごみゼロ宣言の取り組みについて	<p>昨年の亀岡市議会で、2030年度までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指すことを目標として、かめおかプラスチックごみゼロ宣言を発信しました。プラスチックは私たちの生活になくてはならないものとなっていると思いますが、その結果、多くの使い捨てプラスチックが私たちの暮らす環境そのものや、アユモドキをはじめとする生物の生態系、また、保津の自然形態を汚染する一因となっています。この状況の中、プラスチックごみゼロ宣言は、プラスチックに依存していたライフスタイルをもう一度見直し、環境先進都市を目指す亀岡市の施策として今後進めていきます。</p> <p>①協定を結び、市内のスーパーマーケットを中心に、7社13店舗で8月20日からレジ袋の有料化が始まります。有料化することで、レジ袋の大幅な削減を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>②今年の4月、「世界に誇れる環境先進都市 かめおか協議会」を設立しました。商業や観光の事業者や大学、金融機関、行政等34の団体企業の方々と、全国初のレジ袋の禁止条例制定に向け協議を進め、環境に着目して経済社会の統合的向上をはかるために協議会を行ってまいります。</p> <p>③レジ袋の大幅な削減のために、マイバッグ持参率100%を目指していく。パラグライダーで使用している生地を使い、軽いバックを作成しようと考えている。今後、市民の方々にワークショップに参加して頂き、ご自身のオリジナルなエコバックを作成するプロジェクトを考えています。</p> <p>④プラスチックごみゼロ宣言の背景や主旨を進めているプロジェクトの展開について、多くの方々の思いを共有して頂きたいので、「Plastics Smartかめおか100人会議」を開催したいと思っております。7月22日と8月10日に開催するので、参加して頂き、シンボルマークやロゴマークを作成していき、市民の参加による事業に繋げていきたいと思っております。</p> <p>国でもプラスチックの削減のために、プラスチック製のレジ袋を無料で配布を禁止する法令の制定にむけ進んでいると聞いています。市内関係事業者や市民の理解を得ながら、環境先進都市を目指していきたいのでご協力をよろしくお願い致します。</p>	環境市民部長	①実施 ②実施予定	<p>①協定を締結した市内スーパーマーケットを中心に、8月20日からレジ袋の有料化が始まりました。</p> <p>②「世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会」で議論いただく中で、レジ袋の提供禁止条例も検討いただき、条例制定に向け、12月にパブリックコメントを実施し、条例案を来年の3月議会上程、8月1日施行を目指しています。</p> <p>③マイバッグ持参率100%を目指し、パラグライダーの生地を使ったFLY BAGを作成するワークショップを10月に開催し、市民の方々にオリジナルのマイバッグを作成していただきました。来年はまだ未定ですが、実施したいと考えています。</p> <p>④7月と8月に「Plastics Smartかめおか100人会議」を開催し、多くの方々と思いを共有しました。その方々にも参加していただき、世界に誇れる環境先進都市を目指す本市の象徴としてロゴマークを1月に作成したいと考えています。</p> <p>なお、国もプラスチックごみ削減のため、プラスチック製レジ袋の有料化を来年度7月から実施するよう、省令改正を行いました。</p>
21	畑野町	【質問事項等】 平成30年7月豪雨災害について 昨年の災害の被害箇所がまだまだ多くあり、業者に確認してもらおうと高額な費用が必要で、町民でできることは町民でしていますが、高齢化も進み、難しい所もありますので、一度考えて頂きたい。	一度、場所を開かせてもらい、現地にあった制度を確認して判断したいと思っております。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	昨年の被災した普通河川砂川の被害箇所について、今後、二次災害が発生しないよう、出水被害を限りなく軽減させる対策について検討していきたいと考えています。
22	畑野町	【質問事項等】 平成30年7月豪雨災害について 広野二区に流れる水が川ではないが、昨年の災害で大きな石が流れてきて、今までと違う流れになっており、今年また同じような大雨があればとても危険な状態となっているので、石の撤去を含めて対応方法があるのかと、3m～4mにもなっても川に名前がないので補助してもらえないので一度見てほしい。	実際3mの水が流れているのは川ですので、今までは川ではなかったけど時代の流れであれだけ雨が降れば、土砂が流れ川ができることもありますので、一度現場を見て判断します。	市長 (まちづくり推進部)	⑥その他	こん談会後の令和元年8月5日に地元区役員と立会をお世話になり、現地確認をさせて頂きましたとおり民地が混在する土地を管理するに至っておりません。 底地整理をお世話になった段階で、地元関係者の皆様と相談・検討を図っていきたくと考えております。